

山行報告書

(2014.03.26改訂)

日時	平成27年 1月11日(日)		
山名	三郡縦走(竈門神社～愛嶽山～中宮～宝満山～三郡山～前砥石～砥石山～若杉山)		
CL	阿部(功)	参加者	吉永、秋山、森井、諫山、松岡、小笠、坂本、前澤、新里 会員外1名(梅田) (敬称略) (11)名
<p>7:02春日原から下り電車に乗る。都府楼前に7:08に着く予定で、駅前から7:10発のまほろば号に乗ろうとしたところ、バスはドアを閉めて既に発車しようとしていた。ぎりぎりセーフで乗り込む。5人のメンバーが座席に着いていた。時計を見ると7:11を差していた。朝早いせいか、この時期普段は混むであろう太宰府天満宮への道路をすいすいと走り、12～13分後には竈門神社前バス停に到着。吉永、松岡、坂本と合流。各々靴をはいたり、トイレに行ったり、準備運動をしたりして、7:44出発。竈門神社右手裏から愛嶽山をめざして進む。8:05衣服調整でジャンパーを脱ぐ。</p> <p>8:30愛嶽山の祠前で小休。賽銭を1円あげて今日の山行の無事を祈る。賽銭カゴの中はほとんど10円玉ばかりで1円玉は見あたらなかったので少し気が引けた。</p> <p>8:35出発。8:44鳥追峠通過。行者道を進む。少し上ると後から二人連れのおやじが上って来たので先に通す。聞くところによると、今年に入って11回目の宝満登山という。ということ元旦から毎日登っているらしい。自ら“生活習慣病”と言いながら上がって行った。</p> <p>9:04小休。急登が続く。風が無く、樹木の枝のすき間からうららかな日光が覗いている。</p> <p>9:30中宮着。正面階段を上り下りする人達が我々の前を過ぎて行く。</p> <p>9:36出発。正面岩道を登る。</p> <p>9:56宝満山頂。集合写真を撮り出発。</p> <p>10:24仏頂山。このあたりから道がややぬかるみだす。</p> <p>11:16三郡山頂下の舗装路の手前に、風が当たらないところで昼食。春日原のセブンで買ったサンドイッチとミルクチーズパンを、賞味期限切れのカフェオレをお湯に溶いて飲みながら食べる。森井と合流。吉永がキンカン(3個)を配る。自宅で採れたらしいが、つぶが大きく、すくのかめみみたいな形をしている。一つ口に入れてみる、自然にすっぱいが美味しい。</p> <p>11:38出発。三郡山頂には上らず、スルーして進む。雪が融けずに残っている。道が悪いので滑らないように用心して下りる。</p> <p>11:54小休。北西の風が強い。左半身が冷たい。右半身とかなり違う。</p> <p>12:49前砥石着。雲が出て、遠くはかすんで見えない。</p> <p>12:58出発。ここから松岡からリーダーを自分に替わる。</p> <p>13:17砥石山通過。諫山合流。13:36鬼岩谷山着。ここから主に下り。</p> <p>14:25しょうけ峠の陸橋を渡ったところで小休。ここから上り。</p> <p>15:00小休。15:07出発。最後の胸突き八丁をあがって</p> <p>15:21若杉山頂着。681m、気温7℃。山頂で集合写真。</p>			

歩いて温泉まで下りる者たち(秋山、小笠、森井)とは三郡山頂下で別れている。
奥の院まで下る。駐車場にタクシーを呼び、諫山車と2台で温泉センターへ。梅田は山頂から一人歩いて篠栗駅へ。温泉は安くて(300円)狭くはないが、露天とミストサウナがいまいち。
入浴後、センター内の地蔵どうふで打ち上げ。とうふバイキングを食べ過ぎて満腹になる。
帰りはJR篠栗駅まで歩き、博多駅経由春日駅で降り歩いて帰宅。

S記

費用概算	タクシー代	400円 (6人、ひとり頭)
(交通費)	打上げ代	3,000円 (入浴を含む、但し飲酒した者)
(その他)	—	

